

陳情番号	陳情第11号	受理日	令和6年6月21日
件名	ガザ攻撃中止と即時停戦を求める意見書を日本政府に上げを求める陳情		
陳情者	住所	西宮市染殿町 氏名(団体名) 平和と福祉のまち西宮をつくる会 代表 廣田 和也	

(陳情趣旨)

イスラエルによるガザ地区への侵攻およびジェノサイドを止めるため、人道的休戦を達成することが極めて重要なものとなっています。

6月17日ガザ保健省は、イスラエル軍の攻撃による死者が3万7347人に上ったと発表しています。その7割が子どもや女性です。イスラエル軍は、ガザ最南部ラファにも侵攻し、ガザ全域を破壊しています。6月6日には、避難所となっている国連運営の学校が爆撃され、子ども17人を含む40人が犠牲になりました。「僕たちが何をしたというの」と病院に搬送された子どもが切々と訴えている様子が報道されています。

支援物資も滞り、6月15日の報道では、栄養失調で治療を必要としている子どもが5万人以上いるという現状です。もうこれ以上イスラエルの蛮行による犠牲者を増やしてはなりません。

昨年12月13日の国連緊急特別会合で「人道的な即時停戦」が日本を含む153か国の賛成で採択されました。

本年1月26日には、国際司法裁判所が暫定命令として、イスラエルに対してパレスチナ人の生命保護及び人道的権利の尊重を命じました。

即時停戦を求める国際世論が高まり、国連安全保障理事会は6月10日米国提案の停戦と人質解放の決議を採択しました。

ガザの深刻な人道的危機の打開は一刻の猶予も許されず、各国政府および国際機関には国連決議を順守した行動をとることが求められています。

今こそ日本政府が停戦に向けて積極的に当事国に働きかける責務があると考えます。

当会では、市民から350通にも及ぶ抗議の声を集めイスラエル・アメリカ大使館そして日本政府に届けました。小学生の子は「虐待しないで」、戦争体験者の方は「各国政府は即座に停戦、終戦に向けて努力してください」など声をあげています。

西宮市は平和非核都市宣言で、「平和を愛する社会をはぐくみ、築くことを誓う」と謳っています。

平和の営みを進めている西宮市だからこそ日本政府に対して、下記の事項について取り組むよう意見を上げを求めることを求めます。

(陳情事項)

日本政府に対し、つぎの事項について取り組むよう意見を上げを求めることを求めます。

- 1、日本政府は、イスラエルに対し、ガザ攻撃の即時中止を求めること。
- 2、日本政府は、イスラエルとハマス双方に対し、即時停戦に向けた交渉に応じるよう行動すること。